

令和2年度 学校経営方針

1 学校経営の方針

- (1) 憲法・教育基本法の教育に関する法令並びに新学習指導要領，千葉県学校教育指導の指針，印西市の教育施策に則り，初等教育の充実・深化を図り，知・徳・体の調和の取れた人間性豊かな児童の育成を目指す。
- (2) 21世紀を積極的に切り拓く「生きる力」を学校のあらゆる教育活動で育てる。基礎・基本の確実な定着を図り，個性が生きる教育を充実する。
- (3) 授業改善を核とした主体的な研修活動を通し，子どもの側にたった創意工夫のある授業実践に努めるとともに，専門職としての資質力量の向上を図る。
- (4) 全職員が学校教育目標を具体的に把握し，その達成に向けて相互協力を大切にした全員参加の学校経営に努め，評価を学校改善に生かす。
- (5) 「六合小」の歴史と伝統をふまえ，小規模校の良さを生かした創意ある教育計画の樹立に努め，学校・家庭・地域社会と連携を密にし，地域に根ざした教育の推進と開かれた学校を目指す。

2 学校教育目標

やさしく かしこく たくましい子どもの育成

(1) 教育目標

学校像				児童像			教師像			
地域	安全	環境	子ども	体	知	徳	協働	人として	資質向上	子ども
○ 地域から親しまれ、愛される学校	○ 安心・安全な学校	○ 美しい環境に包まれた学校	○ 子どもが輝き、やる気みなぎる学校	○ 進んで心と体を鍛える粘り強い子ども	○ 意欲をもって学び、考え、表現する子ども	○ 思いやりの心を持ち、素直で明るい子ども	○ 切磋琢磨し、目標に向かって協働する教師	○ 人間性豊かで、心身ともに健康な教師	○ 専門性を絶えず磨き、資質向上に努める教師	○ 子ども一人一人を理解し、大切に育てる教師

(2) 目指す児童像<児童の具体的姿>

- ① 「やさしく」思いやりの心を持ち，素直で明るい子ども（道徳的情操の育成・徳性の深化）
 - 明るい挨拶ができる。
 - 友達のよさを認め，相手の立場に立って行動できる。
 - 誰もが様々な特性をもっていることを理解し，お互いを尊重することができる。
 - 助け合い，共に行動できる。
 - 自他の生命を大切にするとともに，生き物を慈しむことができる。
- ② 「かしこく」意欲をもって学び，考え，表現する子ども（思考判断力・自主的態度の育成）
 - 人の話をしっかり聞き，友達の考えと比べながら話すことができる。
 - 自分の考えをもち，粘り強く課題解決に立ち向かうことができる。
 - 善悪の判断がきちんとでき，よいことに進んで取り組むことができる。
 - 基礎的・基本的な知識や技能を確実に身につける。
 - 読書に親しむことができる。
- ③ 「たくましく」進んで心と体を鍛える，粘り強い子ども（体力・運動能力・気力・耐性の育成）
 - 自己の体力・運動能力を知り，高めるための運動を進んでできる。
 - 失敗を恐れず挑戦し，困難なことにも負けず，粘り強くできる。
 - 休み時間には外で元気良く遊ぶことができる。
 - 好き嫌いなく何でも食べられる。